



Vol.9
渥美漁業協同組合
青のり部会の皆さん

インタビュー

渥美の海の男、渥美漁業協同組合青のり部会の皆さんにお話を伺いました。

Q 何を作ってるんですか？

A 「青バラ干し」を作っています。一般的に「青のり」「アオサ」と呼ばれるヒトエグサという藻草を乾燥させたものです。昔は愛知県内のいろいろな場所で養殖されていましたが、今では福江湾だけで採れるものです。この青のりを、渥美半島田原市のブランド商品として流通させています。

Q 青のり部会の発足は約1年半前と聞いています。きっかけは。

A メンバーは全員、海苔養殖の漁業者です。それまでは個々で黒海苔、ヒトエグサなど育てたり研究していました。若手漁業者（10人程度）で三重県や東京を視察し、自分たちの課題を整理し、協同加工場を研究することになりました。

Q 課題は何だったんですか？

A 今までは、それぞれの漁業者が機械を用意し、のりの生産・加工をしていましたが、高齢化で設備投資が難しくなってきたことです。機械は結構高いんです。



Q 今までにどんな取り組みを？

A 市の補助事業を活用し、のりを洗浄する機械を整備しました。個人でも、市の6次産業化企業塾や支援事業に参加して、青のり加工を試験させてもらったりしました。

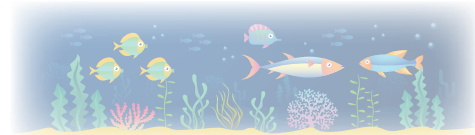
Q うれしかったことは？

A 漁協や市も、積極的にこの事業に関心を持ってもらい、いろいろと応援してくれる事です。

Q 青のり部会の最終目標は？

A いまは、自分達で洗浄等を行っていますが、将来は工場長をおいて、分業体制にしたいです。自分の子どもや、これからの若者が海の仕事を継ぎたいと思う浜にしていきたいです。

(聞き手 小川 貴夫)



編集後記

今ごろ桜前線は東北地方を北上中でしょうか。今から40年以上も前、中学校の英語の教科書に、米国ポトマック河畔の桜並木が紹介されていました。毎年開催される桜祭りには、今では全米から70万人以上が訪れるとのこと。桜の美しさは、米国人をも魅了してしまったようですね。さて、議会だより57号はいかがでしたか。わかりやすい紙面を目指し、日々奮闘中です。桜のように皆さんを魅了したいですね。

(S.H.)



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☑ <http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

募集 **パートさん** しその葉の摘み取り作業 
内職さん しその葉の結束・パック詰め
(応募) まずはお気軽にお電話ください。
TEL 0531-37-0447
(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447

保険は物がありません。約束事です。
TOKAI INSURANCE SERVICE 安心と信頼
東海保険サービス
〒441-3604 田原市伊川津町横津15-1
TEL0531-33-0037